



学校便り

No. 4

夢・挑戦

令和元年10月4日

水俣市立水俣第二中学校

校長 高橋 裕二

2学期は姿勢と挨拶で学力向上を！

2学期がスタートして1か月が過ぎ、朝夕は秋らしくなりました。

さて、1学期は運動・文化面で頑張ってくれましたので、2学期は学力に力を入れたいと思います。3年生は4月に全国学力・学習状況調査（全学調）を受け、夏休みに結果が出ました。新聞には、熊本県は国語、数学、英語の3教科すべて全国平均を下回ったとありました。二中は3教科すべて全国を上回りました。昨年に引き続き2年連続です。結果は次回家庭にもお知らせしますが、課題もありました。得点が高い人と低い人の2極化があったことです。そこで、2学期から朝自習の最初、数学の問題集（教育委員会からの学力向上の予算で購入）に取り組み、その後、これまで通り読書を行います。



【郡市中体連陸上 男子3000m】

学力向上のために、①授業中の座る姿勢、②自分から先にあいさつ、③スマホ等の通信機器やゲーム1時間以内を意識して生活してほしいです。3つとも学力向上に一見関係ないように思えますが、姿勢は「集中力」、あいさつは「気づく力」が高まり、通信機器等の使用1時間内は「全学調などの調査結果」で学力向上が明らかになっています。

最後に、「学年ビリのギャルが1年で偏差値40上げて慶応大学に現役合格した話」の著者で映画化された坪田信貴さんの講演を夏休みに聴く機会がありました。イチローとか羽生結弦など結果を残した人に、「もともと才能があったから」というのは間違いである。

「どんなこともトレーニングでできるようになる」「人が変わるのはトレーニング」また、「未来の自分はどうありたいか。そのためには今が大切である」と語られました。1年後、3年後、10年後のなりたい自分をイメージして、2学期を過ごしてほしいと思います。

ねばり強く、挑戦をあきらめない！！

夏休み、朝から暑い中1時間半の練習に取り組み、9月11日に郡市中体連陸上競技大会が開催されました。短距離、長距離、ハードル、走り幅跳び、高跳び、砲丸投げに頑張ってくれました。

また、10月17日の郡市中体連駅伝大会に向け、始業前や放課後にペース走を中心に代表に選ばれた選手が歯をくいしばって走っています。

新聞記事に、最近の人は「物」ではなく「体験」にお金を使うようになったとありました。勉強や習い事で努力した体験、スポーツなどで体を鍛えた体験、行事などで仲間とともに協力した体験などを、中学校の時に体験してほしいです。

さて、本校小野先生の高校3年間の担任をされた平岡和徳先生（現在、宇城市教育長で大津高校サッカー部総監督）の講演を、先週聴く機会がありました。主な内容は以下のとおりです。

- 目指すゴール（夢や目標）のない者に進む道はない。入学はゴールではない。
- 「考える」を習慣化する。相手が何を考えているか考える。自分が何をするか考える。
- 技術には「人間性」がストレートに表れる。
- 強いチームは「よい挨拶」ができる。
- パフォーマンスは「心×技×体」のかけ算。心が0なら、技術や体力がプラスでもゼロ。
- ほとんどの人が途中であきらめる。挑戦し続ければ本物になるのに…。
- 努力しても成功は約束されないが、成長は必ず約束されている。
- 人間は「どう生まれてくるか」は決められないが、「どう生きるか」は決められる。

校長室で、「掃除をなさい」と先生の声に、「もう終わりました」と答えている声が聞こえました。

実は私も初任の牛深市久玉中の時、ほうきばかりして床を拭かない生徒の指導に苦労しました。

そこで、生徒に言い訳をさせないために、「掃除は見つけてする」「掃除に終わりはない」「床を拭くのが掃除の基本」の3つの言葉を考えました。

掃除場所で生徒を指導するのではなく、3つの言葉を大きな声で唱えながら教室や廊下を回りました。私の声が聞こえると、自然と生徒は床や廊下を、隅々まで雑巾で拭くようになりました。

2年前、久玉中の生徒が42歳で結婚式を挙げ、出席していた友人が、中学校時代を思い出し、私に掃除の3つの言葉を唱えてくれました。生徒が時間一杯隅々まで掃除をするようになると、担任の仕事はほぼ終わりで、学力も自然と向上します。